



ジェームス・マッキニー博士 (Dr James McKinney)

経歴

ジェームス・マッキニー博士は、原子力業界で 20 年以上の経験を有し、英国のレガシー・サイトのクリーンアップを担う英国の機関、原子力廃止措置機関 (NDA) にて統合廃棄物管理本部長を務める。マッキニー博士は、NDA の統合廃棄物管理の戦略リーダーであり、主な担当分野は、放射性廃棄物の保管と処分、処理と収納、グラファイト管理および廃棄物の廃止措置である。マッキニー博士は、IAEA や NEA の会議や会合をはじめ、国際レベルで英国を代表する放射性廃棄物管理問題の第一人者である。

1996 年に博士号取得後は、BNFL (英国核燃料公社) の社内研究所に所属。同研究所はスプリングフィールドサイトに拠点を置き、主にセラフィールドとスプリングフィールドの廃棄物処理プロジェクトに携わった。その後、スプリングフィールド、リズレー、セラフィールドにて、廃棄物管理ライフサイクル全体に関わる技術管理職を数多く担った。2005 年 9 月に ILW (中レベル廃棄物) 戦略マネージャーとして NDA に加わり、英国王立化学会のフェローも務めている。